

学力向上に向けて基礎基本から遡っての問題演習について

1. はじめに

今年度は3学年の数学1Aの問題演習のクラスを担当することになったので、その生徒の学力を少しでも向上してもらうために取り組みをしてみました。

2. 使用教科書 リンク数学演習 I・A+II・B・C 受験編【数研出版】

3. 授業の流れ

- (1) 問題を解く前に基礎知識の確認と必用であれば、どうしてその公式が出てきたのかを証明をのせて、ポイントのみを確認する。
- (2) 確認した公式を使った問題を解説していく。
- (3) 時間があれば類題を生徒に解いてもらう。

4. 取り組みを行った理由

- (1) 本校の生徒は中々授業で押したことが積み上がっていかない。
- (2) 数学を暗記科目として捉えている生徒が多い。
- (3) 仕組みが少しでも分かればやる気が出るのではないかと考えたので。

5. 肌感覚

- (1) 意欲的に取り組んでいる。
- (2) 数学の講習受講生の数が増えている。
- (3) 分かったという声が上がることが多くなった。

6. 課題

- (1) 今後、定期考査の得点の推移を調査する。
- (2) 授業のみで終わるのではなく、宿題を適宜出し、練習させる機会を作る。
- (3) 問題をシンプルに伝え、苦手意識を払拭するように授業研究に努める。
- (4) 発展、応用への問題のレベルを上げていく。

7. 感想

- (1) 数学を苦手としている生徒が多い本校であるが、今何をしてそれがゴールがどうなのかを示してやると少しずつではあるが努力してみようかなという生徒が出てきています。
- (2) 未だ未だ未熟ではありますが、やはり授業者の情熱、やる気が生徒のやる気に火をつけるような気がします。
- (3) 数学を教えるのですが、仕組みを教えるのは具体的な生活と関連付けて説明すると数学を苦手としている生徒には効果的に理解させることができるように感じます。